



令和の時代を迎え、初めての定例会

令和元年 第1回定例会

令和元年第1回定例会は、6月10日に開会し、「令和元年度門真市一般会計補正予算(第3号)」など、市長提出議案6件、議員提出議案1件について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決及び承認し、6月24日に閉会しました。

プレミアム付商品券の発行を含む

補正予算など7議案を可決

令和元年度補正予算(1)

(一般会計補正予算(第3号))

(議決結果) 反対討論の後、

賛成多数で可決

(民生常任委員会審査概要)

プレミアム付商品券事業で
地域活性化へ

問 同商品券の内容は。

答 本市と守口市内の店舗において使用できる商品券であり、1冊5000円分を4000円で販売するものである。

対象者1人当たり最大5冊まで分割購入が可能であり、500円券10枚つづりで、利用しやすい運用を予定している。

問 同事業の予算内訳は。

答 事業費としては、商品券割り増し発行を想定した額2億円、販売に係る委託料としては、1870万円の歳出を追加計上している。

また、本事業は全額国庫補助の対象であることから、歳出額と歳入額を同額で計上している。今後、歳出額に増減が生じた

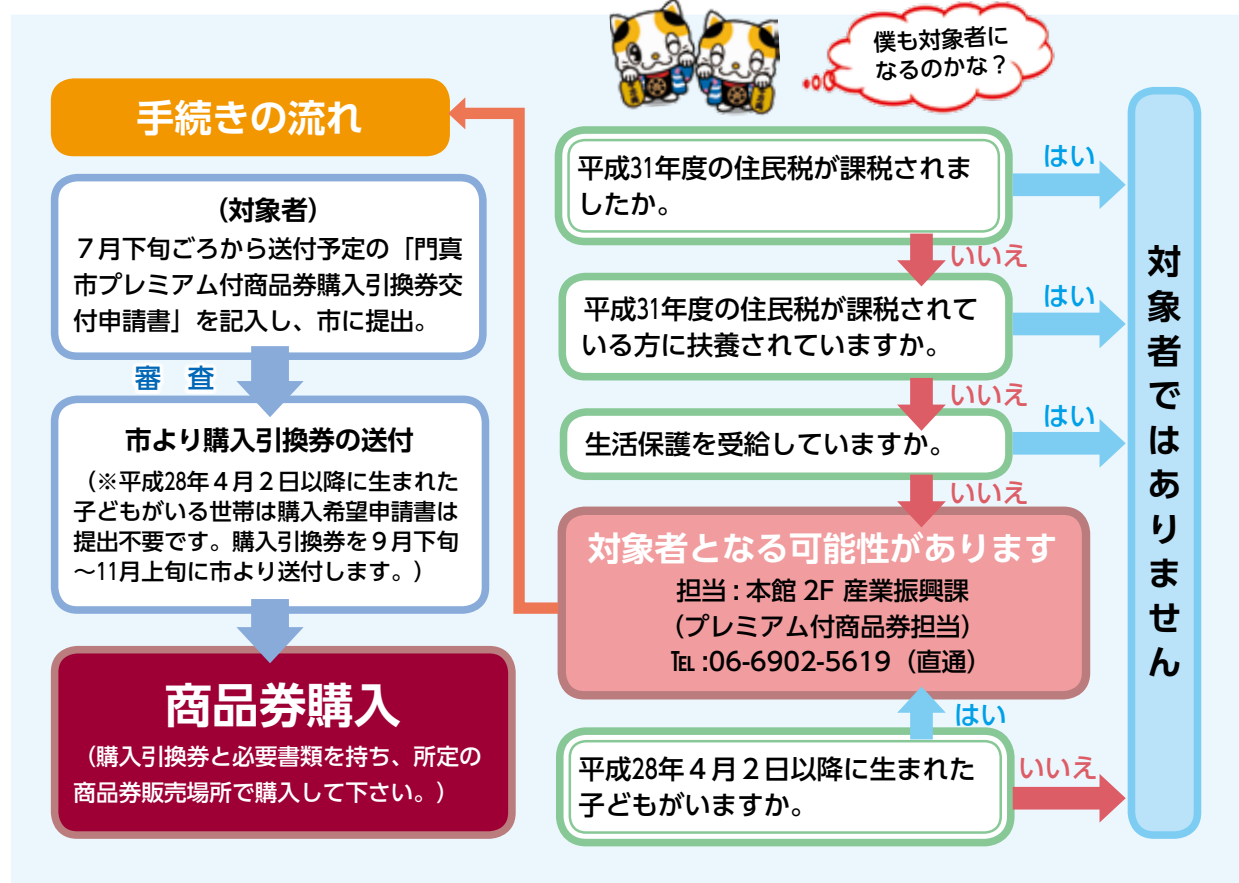
場合は、実績に応じた額が国より補助されることとなる。

問 同商品券の購入対象者は。

答 住民税課税者と生計同一の配偶者、扶養親族並びに生活保護受給者等を除く、2019年度住民税の非課税者、または、平成28年4月2日から令和元年9月30日生まれの子がいる世帯の世帯主である。

もくじ

- 議案審議等の概要 …… 1～3ページ
 - ・一般会計補正予算(1)
 - ・一般会計補正予算(2)、工事請負契約の締結
 - ・意見書など
- 一般質問 …… 4～7ページ
- 議決結果、議会活動日誌 … 8ページ



令和元年度補正予算(2)

(一般会計補正予算(第3号))

(民生常任委員会審査概要)

健康の増進・維持に向けて運動・スポーツ習慣化促進事業を開始

問 同事業の概要は。

答 同事業は市と門真市医師会及び関西医科大学健康科学センターとの協働により市内医療機関に通院する60歳以上の市民を対象に、疾病等の管理や予防のために運動、スポーツをすることが必要な高齢者等へ運動指導等を行う認定トレーナーを養成し、運動継続に向けた支援を実施するものである。

また、サルコペニアに対する予防的介入を効果的、効率的に推進する上で、かかりつけ医と同トレーナー、スポーツ専門医の3者が医療情報共有アプリを用いて、運動プログラム、運動

記録、運動の効果を共有し、対象者の運動習慣化が図られるように取り組むものである。

問 同事業を取り組むことになった経緯は。

答 平成29年度に同医師会及び同大学健康科学センターが協働で市内医療機関に通院する自立した高齢者等の約1000人に対して、サルコペニアの実態調査を実施したところ、男女とも約3割の者がサルコペニア予備軍と認められ、将来的な介護リスクを低減するための予防的介入が必要という状況が把握された。今般、市協力のもと、同事業が採択されたことから、運動等を通じて健康の保持・増進に取り組むものである。

問 同事業実施における今後の市の展開は。

答 同事業のモデル的な実践を通して、その効果や課題を整理し、

高齢者等が安全で効果的に運動を習慣化するために必要な条件や環境等の把握に努めていく。

また、いきいき百歳体操等の介護予防の取り組みや、総合体育館を初めとした地域にある既存の社会資源との連携等を視野に入れ、同医師会、同大学健康科学センターなどとの協働により、高齢者等が地域で運動習慣が継続できる体制づくりを目指していく。

(文教子ども常任委員会審査概要)

病児・病後児保育事業の現状等を確認

問 同事業の現在の状況は。

答 病児保育事業については、病児保育室ティーグルが職員体制等の事情により、平成30年11月中旬より一時的に休室しているが、現在、再開に向けた準備が進められている。再開の時期や定員、開室時間・曜日等の詳細については、今後の保育士の確保状況等により決定される予定である。

また、病後児保育事業における今年度の利用状況は、4月は1人、5月は5人となっている。

問 同事業の今後の方向性は。

答 同事業は、これまでの利用実績からも子育て世帯にとってニーズが高いサービスであると認識しており、今後においても門

真市子ども・子育て支援事業計画の次期計画策定に向けて実施したニーズ調査の結果等も踏まえ、さらなる事業の充実に努めていきたい。

門真千石西町住宅第3期新築工事請負契約締結へ

契約金額 53億8596万円
落札率 99・69%
契約相手方 大阪市淀川区
西中島三丁目9番15号

大鉄工業株式会社
代表取締役社長
荻野 浩平

工期 令和元年6月24日から
令和3年6月30日まで

(議決結果) 反対討論の後、賛成多数で可決

(総務建設常任委員会審査概要)

問 総務建設常任委員会を2回開いてまで契約締結を急ぐ理由は。

答 平成30年8月と11月に実施した移管に関する入居者説明会では、多くの入居者から早く建てかえてほしいとの要望があった。30年6月に大阪府北部地震が発生し、入居者の安全を早期に確保することを優先して、建てかえ工事を進め、移転入居時期を当初の計画どおりに実施するため、本議会において追加議案として提出し、契約締結を行うものである。

問 新築工事の設計概要は。

答 総戸数は350戸、住棟数は2棟、階数は10階建て、構造は鉄筋コンクリート造、建築面積は約2935㎡、延床面積は約2万316㎡である。

住戸タイプとしては、1DKが24戸、2DKが167戸、3DKが144戸、4DKが6戸、車椅子常用者世帯向けが9戸となっており、その他の施設として、設備棟、駐輪場、ごみ置場を設置する予定である。

問 4棟を一括発注しているが、分割発注等をした場合との比較検討は行ったのか。

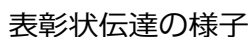
答 発注方式の決定に当たり、一括発注、建築・電気・機械の工種を分ける分離発注等の4パターンの比較検討を行った。その結果、工事費の総額が最も少なく事業遅延リスクが最も少ない一括発注を採用することとした。

門真市でギネス世界記録を達成

6月22日に開催された「ガラスケと片手ハイタッチでギネス世界記録に挑戦!!」の予選に議員チームも参加いたしました。



福田英彦
議員



※市議会ホームページでは、収支報告書の写しを閲覧することができます。

	本 会 議	常任委員会
受付時間	開催予定時刻の30分前から	
受付場所	市役所本館 1 階議場前	市役所本館 4 階議会事務局
定 員 (先着順)	一般席32人 車椅子使用者席 3 人	10人

定例会の最終日終了後、議場前にて議案書の無償提供（先着10人、1人1部）を行っていますので、ご希望の方は受付担当者まで、お申し出ください。

一般質問

6月21日、24日の本会議において、16名の議員が市政に対する質問を行いました。

主な質問と答弁の要旨を4面から6面に掲載しています。(通告順)

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページをごらんください。
※令和元年第1回定例会の会議録は9月初旬に掲載する予定です。

市議会ホームページでは、
本会議録画中継を閲覧できます。

門真市議会インターネット中継
検索



松本 京子
(公明党)

小規模保育事業所について

問 同事業所の今後の方向性は。

答 待機児童が減少しつつある一方で、就学前人口が減少する見込みにより、施設の安定的運営への影響も懸念される。

現在見直しを進めている特定教育・保育施設の利用定員の見込みなどの結果を見きわめ、慎重に検討していく。

いじめ対策について

問 匿名でいじめ相談や報告ができるアプリ「STOP it」の長

所・短所と導入の考えは。

答 いじめの早期発見が可能となる一方で対応するための人員確保が必要となる。導入予定の自治体の情報を収集し調査研究していく。

教科担任制について

問 同体制の成果と今後の導入は。

答 任期付教員を活用し、教科担任制に取り組んだ学校では、「授業がわかる」という肯定的な回答が1学期の68%から3学期の83%へ向上し、学期末テストの正答率が1年前より上昇した。

授業の質の向上、働き方改革の観点からも効果的な取り組みと考えている。

小学校教員数は中学校に比べ少ないため、導入については調査研究を行っていく。



坂本 拓哉
(大阪維新の会
緑風議員団)

ひきこもりと不登校について

問 不登校児童・生徒が将来的にひきこもりとなってしまうケースが多々見受けられるが、不登校に対する市の対策は。

答 門真市適応指導教室「かがやき」の設置を初め、不登校対策学生フレンド事業、子ども悩み相談サポートチームによる来所相談や訪問等により、児童・生徒やその保護者、学校教職員等への支援も行っている。

なお、学校の取り組みとして、全中学校及び一部小学校に校内適



岡本 宗城
(公明党)

モノレール南伸に向けた

新駅設置の調査事業について

問 新駅（松生町付近）設置の事業目的と調査結果は。

答 門真市駅から（仮称）門真南駅間に新駅を設置することにより、交通便利性の向上等、まちづくりを大きく進めることを目的としている。

本市南西地域の公共交通不便地域のさらなる解消等に加え、



南伸予定の大阪モノレール

応指導教室を設置し、不登校傾向の児童・生徒の学習支援も行っている。

問 国内で悲惨な事件が多発し、さらなる取り組みが重要な中、本市でのひきこもりへの対応とひきこもりを要因とした生活困窮に伴う生活保護受給者への就労支援は。

答 福祉や教育等の窓口にて、さまざまな相談の一つとして対応しており、門真市社会福祉協議会のいきいきネット相談支援センターでは専門の相談員が、必要に応じて電話や訪問、各専門機関につながるなどの支援を行っている。また、ひきこもりが就労阻害要因となっている生活保護受給者に、就労支援等事業を行い、就労支援カウンセラーなどが関係機関と連携し、自立に向けた支援に努めている。

費用便益分析においても「整備効果が得られる結果」となった。

このことから、本市と守口市にとって、同事業全体において、整備効果の向上に寄与されるものと認識している。

本年7月には、本市と守口市が、府へ新駅設置の要望を行い、関係者と協議を重ね、予備設計等を実施する予定である。

門真南駅への交番設置について

問 今年度における二島交番新築工事の予定は。

答 本年8月上旬から門真南駅前に建設工事を開始し、12月上旬に完成する予定である。



移転が決まった二島交番



寺西 敬子
(公明党)

健康寿命の延伸と高齢者を支援する社会インフラについて

問 高齢者の生活機能の回復及び強化（フレイル予防）のための効果的な活動や、市の休眠施設を有効活用した、リハビリ施設設置についての市の取り組みは。

答 予防に効果的な活動としては、いきいき百歳体操が挙げられ、高齢者の社会参加や、介護予防の取り組みとして休眠施設等の活用は有効策であると認識している。

また、今年度より新たに生活支援コーディネーターが自治会館等



土山 重樹
(自由民主党)

介護保険について

問 介護保険料が府内で高い水準となっているくすのき広域連合において、過去10年間の保険料の不納欠損累積金額は。また、同広域連合の構成市であり続けることのメリット、デメリットと、市として今後の方針は。

答 不納欠損の総額は12億3119万7646円である。

広域連合であるメリットは保険財政基盤の安定化、事務の効率化、地域密着サービスの共有が挙げられ、デメリットは社会資源が異なる

の空き状況等を把握し、住民主体による活動の場の立ち上げ支援を行っている。今後においても、健康づくりなどへ支援の充実を図りながら、継続して使いやすい場となるよう拡充に努めていく。

交通弱者への安全対策について

問 自転車走行箇所を示すピクトグラムの設置について市の考えは。

答 現在、本市において設置している箇所はないが、本年3月策定の「門真市自転車ネットワーク基本計画」により、今後計画的に設置していく。

ピクトグラムを設置すれば、自転車の逆走防止や歩行者と自転車の分離を図れ、接触事故の減少等が期待できると考えている。

ること做起る事務調整等である。今後は適切な事務改善や適正化、予防の推進等、引き続き同広域連合と連携を密に対応していく。

他市より高い介護保険料

高槻市	▶	5,083円
茨木市	▶	5,300円
交野市	▶	5,360円
...		
くすのき 広域連合	▶	6,748円

1号保険料基準額(月額)



大西 康弘
(自由民主党)

熱中症対策について

問 コミュニティバスの市役所前
のバス停や各バス停での熱中症対
策は。

答 一部のバス停は、ひさしが設
置されているが、大半は設置場所
等の課題により未設置である。

市役所前のバス停は、市役所内
ロビーでの待機を呼びかける案内
板を設置するとともに、庁内イン
フォメーションパネルに時刻表を
表示することで、乗りおくれなど
が生じないように、対策を行っている。



福田 英彦
(日本共産党)

くすのき広域連合のあり方について真剣な検討を

問 府下3番目に高い介護保険料
でスケールメリットが生かされて
おらず、地域に重点が置かれてい
る新制度のもと、今後も介護保険
事業を同広域連合に担わせていく
のか。同広域連合の検証結果を踏
まえた上での今後の取り組みは。

答 同広域連合から構成市の意見
を求められた際には対応する。ま
た、中長期的な視点で、社会情勢
や法改正等を踏まえつつ、適正な
事業の推進に向けて、ためまぬ検

問 キッズサポーターへの熱中症
対策は。また、門真市住民活動災
害補償制度は熱中症に適用可能か。

答 キッズサポーター登録時に帽
子を貸与している。また、同制度
において熱中症の適用事例がある
ため、適用可能と考える。

SNSの活用について

問 SNSによる道路不具合通報
システムは道路等のふぐあいの通
報手段として他市で使われている
が、市の現状と今後の考えは。

答 現状は、窓口や電話、問い合
わせメールによる通報があり、関
係機関からも情報提供がある。

また、時間外の受け付けも宿直
にて行っている。今後は、導入し
ている他市のシステム運用の状況
や費用対効果を検証していく。

討を重ねていく。

公立保育園等の「最適化検討委員会」について

問 7月の公立園最適化検討委員
会で示す「市の考え」とは、現在
の大和田幼稚園、浜町・上野口保
育園を統合や、民間へ移行し、認
定こども園1園に再編する考えか。

答 国道163号を境に南北地域
に公立園を1カ所ずつ再編するこ
とで、良質な保育サービスを維持
する案をベースに取りまとめる。

また、北部に認定こども園とし
て再編することも一つの案である。

問 再編で公立園の比重は低くな
るが公立園の役割を果たせるのか。

答 市内における教育・保育提供
施設に対する先導的役割は果たせ
るものと考えている。



大倉 基文
(大阪維新の会
緑風議員団)

防災無線の役割について

問 防災無線は、その機能を生か
すことができるよう市民の生命、
財産を守るために緊急時に限り放
送するべきと考えるが、どうか。

答 大阪府北部の地震の後、市民
から同様の声等があり、現在は緊
急時に限定した運用を行っている。

問 正確な情報の伝達には他の周
知方法も大切と考えるが、どうか。

答 放送内容の確認のため、市ホ
ームページ及びツイッターへの掲
載並びにFMハナコからの情報発
信等を行っている。また、電話で



後藤 太平
(公明党)

魅力あるまち門真に向けて

問 門真に住みたいと思ってもら
うためには「子どもを産み育てや
すいまち、門真」等の魅力を前面
に発信していく、少子・高齢化問
題等に真正面から向き合っていく
姿勢を見せることが大切と考える。

その中において、妊娠期からの
早期支援は妊産婦等の不安を解消
し、健やかな養育環境を創造する
ために大切と考えるが、本市の産
前産後ケアの現状は。

答 専門職の妊娠届け出時の全数
面接を初め、ママパパ教室、産後

の問い合わせも適宜対応している。

モノレールの新駅設置について

問 守口市と実施した需要予測は
その要望先となる国・府にとって
説得力のあるものでなければと考
えるが、需要予測の発注先とその
結果は。

答 府が過去に実施した大阪モノ
レール南伸事業の需要予測との考
え方の整合を図るため、府と同一
の受注者、同様の手法のもと、需
要予測等を行った結果、整備効果
が得られるものとなった。

問 新駅事業認可までの工程と、
今後の市の決意は。

答 府が都市計画の手続を行い、
事業認可を取得後、工事を進める
流れとなる。今後は府と時期を見
据えてしっかりと調整していく。



中道 建
(自由民主党)

モノレールの新駅設置について

問 モノレールの新駅設置は市の
活性化に重要と考えるが、新駅設
置の検証結果と、進捗状況は。

答 守口市と連携して基礎調査を
行った結果、モノレール全駅利用
者の需要が増加する予測となり、
費用便益分析でも整備効果が得ら
れるものとなった。

今回の調査結果
を踏まえ、今後は
守口市とともに府
に新駅設置の要望
を行い、実現性の



南伸予定の大阪モノレール



池田美佐子
(公明党)

市内公共交通網の今後について

問 高齢者の自動車事故が取り沙
汰される中、免許証の自主返納を
考える市民は多い。

本市は国道163号、府道八尾
枚方線等、交通の便はよいが、免
許証を返納すると大変不便になり
その交通手段はバスやタクシーな
どに限られる地域も多いことから
外出機会の減少につながると考え
る。また、高齢者に限らず、車を
使用しない人のため、地域の足の
拡充は必須であると考えてるが、今
後の市内公共交通網について市の

見解は。

答 本市における公共交通網につ
いては、鉄道や路線バスに加え、
コミュニティバスの運行により、
おおむね補完されていると考えて
いる。

今後の展望については、コミュ
ニティバス運行事業者との協議に
より、路線の改編や増便は、運転
手確保等の課題により難しいとの
回答を得ている。しかし同バスは
地域の足として重要な交通網であ
ること
から、
今後も
機会を
捉え協
議を続
けてい
く。



精度を高めるべく、予備設計等の
実施を予定している。

3世代同居・近居支援について

問 少子化等が深刻な問題となっ
ている中、家族の支え合いにより、
子育てしやすい環境を整備するこ
とは重要と考える。

今後、3世代同居や近居希望者
に対して、住宅支援を行うことに
ついて市の見解は。

答 府内の複数市町では、子育て
支援等を目的に新築家屋の建築や
既存家屋のリフォームに対して最
大30万円の補助金を支出するなど、
3世代・多世代同居の補助制度を
実施している。

本市は、補助金等の支援制度が
ないため、他市の事例等も参考に
調査研究していく。



坂本大次郎
(公明党)

学校施設における 熱中症対策について

問 本市の小・中学校における過去3年間の熱中症による救急搬送者数と、その発生状況は。

答 3年間で2件生起しており、1件目は、平成28年5月に中学校の体育の授業で、ランニングをしていた際に体調不良となり、水分補給後も容体が改善されなかったため、救急搬送された。

2件目は、30年7月に臨海学校に参加した6年生児童が、遊泳後、頭痛・吐き気を訴え、水分補給後、

救急搬送された。なお、いずれも軽度の熱中症であった。

問 熱中症対策として学校施設へ冷水機を早急に導入するべきだと考えるが、現在の設置状況は。

また、低床タイプの冷水機を設置すれば、学校の体育館が避難所となった際にも車椅子利用者や小さな子どもが水分補給しやすいな

と思うのだが、今後の方向性は。

答 一部の中学校にPTAなどから寄附された冷水機が設置されており、活用している。

冷水機の設置が熱中症対策に効果的であることは認識しているが、不特定多数で使用するこゝへの抵抗感や不衛生であるとの意見がある。今後は、低床タイプの設置等も含めて、冷水機の導入について調査研究していく。

機会を通じて、周知活動を実施している。

問 日本火災報知機工業会は、同警報器は古くなると、電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感じしないおそれがあるとして、取りかえを推奨しているが、取りかえについての周知状況は。

答 同消防組合において、本市消防団と連携した防火キャンペーンや消防車両による巡回広報、ホームページ、各種広報誌への掲載及び消防音楽隊の活動等を通じて、

機器点検や電池の交換方法及び機器の取りかえ時期等の周知を行っている。



設置が義務づけられている
住宅用火災警報器



五味 聖二
(大阪維新の会
緑風議員団)

行政間の広域連携について

問 人口減少が深刻化し、高齢者人口がピークを迎える2040年ごろから逆算して、顕在化する諸課題を他市と共有し、対応していくことが必要であるが、近隣市との広域連携に対する市の見解は。

答 し尿処理の委託等を他市と連携し行っているところであり、北河内ブロック会議や大阪市隣接都市協議会においても行政間の広域連携や広域行政等の取り組みについて情報共有や意見交換を行っている。今後は必要に応じて、他市

町村との広域連携等、行政課題に対する連携を検討していきたい。

ごみ処理の広域化について

問 守口市では、ごみ処理の広域化を進めることが決定した。本市においても、老朽化したごみ焼却施設の対策は喫緊の課題であり、早急に広域化の検討を進めるべきであると考えるが、市の見解は。

答 老朽化した焼却施設の更新や廃止には多額の費用が必要となるため、集約化を図ることは財政的なメリットも大きく、将来を見据え検討を始めることは有効である。今後は、財政状況も勘案しつつ、焼却施設の保全・延命化の検討とあわせ、ごみ処理の広域化等についても人口減少等を踏まえ、さまざまな観点から検討していきたい。



池田 治子
(自由民主党)

プラスチックごみ問題について

問 G20を機に、地球温暖化問題や海洋プラスチックごみ問題等に取り組む市の覚悟のほどは。

答 新たな取り組みとして環境問題についての講座を開催予定であり、市民に主体的に考えてもらう機会を設け、意識の高揚を図る。

キッズサポーターについて

問 キッズサポーターの活動に対する市の見解と、今後の方向性は。

答 登下校時の安全確保に貢献し、「見える防犯」として効果があり、



亀井 淳
(日本共産党)

学校適正配置審議会 審議中の小中一貫校について

問 小中一貫校の課題は。

答 9年間ほぼ同一の集団で学ぶため、人間関係が崩れてしまった場合の再チャレンジが難しくなる。

問 小・中接続部に当たる6年生と7年生への課題は。

答 文部科学省が実施した「小中一貫教育の導入状況調査」において、「小学生高学年のリーダー性・主体性の育成」という項目で、課題が認められているとの回答が、平成26年調査で36%、29年調査で

は22%となっており、改善傾向はあるものの、課題の一つに挙げられている。

問 キャリア教育の問題や課題は、小中一貫教育により解決するのか。

答 小中一貫教育を推進していくことで9年間を見通した学びの連続性を確保し、子どもたちが学ぶ意欲や夢を持ち続けられるようになるなど、キャリア教育の効果をより高めることができると考える。

歩行者の安全対策について

問 防護柵や白線等の路面標示を初め、道路の穴ぼこや段差、水たまりへの対応はどうしているのか。

答 基本的には業者発注しているが、緊急時の初期対応や専用の機材を必要としない修繕等は、土木課作業所職員で対応している。

本館4階のレイアウトが変更になりました

平成31年4月の統一地方選挙後、会派が新たに構成されたことに伴い、本館4階の議員控室のレイアウトが変更になりました。議員控室では、議員が市政に関するご相談に応じておりますので、お気軽にご利用ください。



■市政に対する一般質問の要旨（通告順）

松本 京子（公明党）

- 小規模認可保育園について
 - 待機児童の現状について
 - 小規模認可保育園の現状について
 - 今後について
- いじめ対策について
 - いじめと不登校の現状について
 - いじめ防止基本方針について
 - S T O P itと今後について
- 教科担任制について
 - 門真市の現状について
 - 今後について
- 安全対策について
 - 災害の現状について
 - 防災訓練について

坂本 拓哉（大阪維新の会緑風議員団）

- ひきこもりと不登校について
 - 門真市における不登校生徒の現状とその支援について
 - ひきこもりについて

岡本 宗城（公明党）

- 大阪モノレールについて
 - 大阪モノレール新駅設置について
 - 市の見解について
 - 今後の取り組みについて
- 門真南駅への交番設置について
 - 二島交番の老朽化に伴う門真南駅付近への建てかえ・移転について

寺西 敬子（公明党）

- 公園の整備について
 - 市民からの要望が多い「使いやすい公園設備」（ボール遊びができる公園、手洗い等水道を使えるようにしてほしい、健康遊具など大人も楽しめる器具の設置等々）に対する市の取り組みについて
- 交通弱者に対する安全対策について
 - 子どもや高齢者など、いわゆる「交通弱者」を守るための具体的な施策について
 - 歩行者と自転車の利用を区別するための道路の路面標示の市内での実施状況とその効果について
- 健康寿命の延伸と介助の必要な高齢者の生活を支援する社会インフラ整備について
 - 加齢に伴う虚弱化（フレイル）の対策について
 - 市の休眠施設（閉校した校舎や小・中学校の空き教室）を有効活用し、地元で通える「リハビリセンター」のような類いの施設の開設などについて
 - 高齢者の就労機会をふやす取り組みについて（みずから身につけた熟練した技術、いわゆる職人の人材バンクなるものの設置など）

土山 重樹（自由民主党）

- 介護保険について
 - 市民の保険料負担について

大西 康弘（自由民主党）

- 門真市におけるS N Sの活用について
 - 市のS N Sの活用内容と今後の活用構想について
 - S N Sを活用した道路不具合通報システムの実現性について
- 子どもの見守りに関する情報提供について
 - 不審者情報の発信実績と利用者数、共有範囲について
 - 不審者情報伝達にタイムラグがある理由と今後迅速に伝えるための方策について
- 熱中症対策について
 - コミュニティバスのバス停での熱中症対策について
 - キッズサポーターのボランティアの方の熱中症対策について

福田 英彦（日本共産党）

- くすのき広域連合のあり方についての真剣な検討について
 - 「くすのき広域連合における介護保険事業実施に係る評価・効果検証」結果の内容と受けとめ等について
 - 検証結果を踏まえた今後の取り組みについて
- 公立園最適化検討委員会について
 - 検討委員会の目的、検討状況について
 - 7月に示す予定の「市の考え」について
- 門真市第6次総合計画の策定について
 - 総合計画審議会の状況について
 - 今後のスケジュール等について

大倉 基文（大阪維新の会緑風議員団）

- 防災無線について
 - これまでに市民の皆さんから寄せられた声について
 - これまでの対応について
 - 今後の対応について
- こども発達支援センターのあり方について
 - 現在のセンターの体制について
 - これからの運営について
- モノレール延伸決定後の門真市における新駅要望について
 - 需要予測について
 - 新駅事業認可までのスケジュールについて

後藤 太平（公明党）

- 産前産後ケアについて
 - 本市の産前産後ケアの現状について
 - 今後の取り組みについて

池田美佐子（公明党）

- 市内交通網について
 - 市内の公共交通の現状について
 - 今後の展望について

中道 建（自由民主党）

- 大阪モノレールについて
 - 大阪モノレール新駅設置の検証、進行状況について
- 3世代同居・近居の支援について
 - 3世代同居・近居の住宅支援事業について

坂本大次郎（公明党）

- 学校施設における熱中症対策について
 - 市における熱中症による救急搬送者数と発生場所について
 - 冷水機の設置について

森 博孝（無所属）

- 住宅用火災警報器について
 - 2006年6月消防法改正により設置が義務化されたが、その概要について
 - 本市における住宅用火災警報器の設置状況について
 - 10年経過による取りかえが必要となるが、その対応について

五味 聖二（大阪維新の会緑風議員団）

- 人口減少社会への対応について
 - 2040年を見据えた行政間の広域連携について
 - ごみ処理の広域化について

池田 治子（自由民主党）

- プラスチックごみ問題について
 - 海洋プラスチックごみ問題に関する市の現状について
 - 環境問題の啓発について
- キッズサポーターについて
 - キッズサポーター制度発足の経緯について
 - 現在の登録者数と活動状況について
 - キッズサポーターの活動に対する市の見解について
 - 保護者、学校、教育委員会とキッズサポーターとの連携について
 - 今後の方向性について
- アライグマ対策について
 - アライグマ対策の法的な位置づけについて
 - 府内での状況と門真市内での状況について
 - アライグマの性質の特徴について
 - 市民への啓発と周知について

- 熱中症対策について
 - 体育館の温度管理について
 - エアコンの設置について

亀井 淳（日本共産党）

- 義務教育学校の疑問点について
 - これまでの小中一貫校と義務教育学校との違いは何かについて
 - 小中一貫校と義務教育学校の利点・課題とは何かについて
 - 「中一ギャップ」とは何かについて
 - キャリア教育は必要だが、小中一貫教育でないとできないのかについて
- 歩道の安全対策としての維持管理について
 - 防護柵設置と維持管理について
 - 道路上の白線（路面標示）の塗りかえについて
- 大阪北部地震を踏まえた今後の防災対策について
 - 同地震への対応から導き出された教訓と今後の対応について
 - ブロック塀等安全対策促進補助制度を恒常的事業とすることについて

令和元年第1回定例会で 審議した案件と議決結果			会派名	公 明 党							大阪維新の会 緑風議員団					自由民主党				日本 共産党		無 所 属	議 決 結 果	
				後藤 太平	寺西 敬子	坂本大次郎	池田美佐子	松本 京子	岡本 宗城	内海 武寿	大倉 基文	滝井 稔元	坂本 拓哉	吉水 志晴	五味 聖二	今田 哲哉	土山 重樹	中道 建	大西 康弘	池田 治子	福田 英彦	亀井 淳		森 博孝
議案番号			議案名																					
報 告	報告第4号	平成30年度門真市一般会計繰越明許費繰越計算書について	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	議決 不要
	報告第5号	平成30年度門真市水道事業会計予算繰越計算書について	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	議決 不要
	報告第6号	平成30年度門真市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	議決 不要
	報告第7号	平成30年度門真市水道事業会計継続費繰越計算書について	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	議決 不要
専決処分	承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について）	○	○	○	○	○	○	（議長につき、採決に参加なし）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条 例	議案第27号	門真市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第28号	門真市手数料条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他の議案	議案第30号	門真市営門真千石西町住宅第3期新築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
補正予算	議案第29号	令和元年度門真市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
	議案第31号	令和元年度門真市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	議員提出議案第2号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議 会 活 動 日 誌（令和元年6月1日～7月31日）

- 6・
- 3 議会運営委員会

10 本会議（令和元年第1回定例会開会）

11 全国市議会議長会定期総会

12 総務建設常任委員会

13 民生常任委員会

14 文教こども常任委員会

17 議会運営委員会

21 議会運営委員会

本会議

総務建設常任委員会

24 本会議（令和元年第1回定例会閉会）

- 7・
- 4 守口市門真市消防組合議会臨時会

くすのき広域連合議会臨時会

11～12 東部大阪治水対策促進議会協議会他都市視察

16 淀川左岸治水促進期成同盟総会

24 河北市議会議長会

25 飯盛霊園組合議会定例会

